

ニュースリリース

2024年7月1日

# がん検診を中心とした健診センター「NURA（ニューラ）」をベトナムに展開

健康診断サービス事業を東南アジア地域に拡大

このニュースリリースは、報道機関向けに発信している情報です。

富士フイルム株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長・CEO：後藤 禎一）は、がん検診を中心とした健診センター「NURA（ニューラ）」をベトナムに展開します。新拠点は、東南アジア地域での「NURA」初拠点として、7月1日にベトナムのハノイにオープンします。ベトナムで医療機関「T-Matsuoka Medical Center」を展開する「VIETNAM JAPAN HEALTH TECHNOLOGY JOINT STOCK COMPANY（以下、VJH社）」が運営。インドやモンゴルで「NURA」を展開してきた富士フイルムの子会社「FUJIFILM DKH LLP」のサポートのもと、がん検診をはじめ生活習慣病検査サービスを提供します。

当社は、今後も「NURA」の拠点拡充を図り、新興国での健康診断（健診）サービス事業をさらに拡大していきます。



「NURA」新拠点のエントランス



「NURA」新拠点のCT

## 健診センター「NURA」について

当社は、2021年にインドのベンガルールに「NURA」を開設し、新興国での健診サービス事業を開始しました。以降、拠点拡充を進め、現在はインドで4拠点、モンゴルで1拠点を展開しています。「NURA」では、当社が持つCT・マンモグラフィなどの医療機器や医師の診断を支援するAI技術を活用して、がん検診をはじめ生活習慣病検査サービスを提供。すべての検査と医師による検診結果のフィードバックが、約120分という短時間で完了する点や、フィードバックの際に、医師から健診結果に関する説明を診断画像を見ながら分かりやすく受けられる点などが、利用者から好評を得ており、すでに45,000人以上の方にご利用いただいています。

ベトナムでは、がんや虚血性心疾患などの生活習慣病をはじめとした非感染性疾患が死因の上位を占めています<sup>\*1</sup>。これらの病気は、早期に発見し、治療や保健指導などの対策を行うことにより死亡率や重症化リスクを抑制できます。ベトナムでは、日本と同様、労働者に対する定期健診が義務化されていますが、健診の受診率は約3.5%と低く<sup>\*2</sup>、病気の早期発見が難しい現状があります。

今回、当社は、VJH社と提携し、ベトナムの首都であるハノイに「NURA」を展開します。これまで蓄積してきた健診サービスのノウハウをVJH社に供与。VJH社、およびベトナムの医療の質向上に貢献してきた「T-Matsuoka Medical Center」とともに、同国で高品質な健診サービスを提供する環境を構築していきます。また、ベトナムでの健診文化の定着を目指して、周辺地域の病院や企業に対して健診の重要性を伝える活動にも取り組んでいきます。

今後も当社は、豊富な医療機器のラインアップや医師の診断を支援するAI技術を活用した「NURA」の高品質な健診サービスをより多くの方々に届けることで、世界の医療の発展と人々の健康の維持増進に貢献していきます。

\*1 WHO Webサイト「Global Health Estimates: Life expectancy and leading causes of death and disability」より。

\*2 経済産業省:R2年度・ベトナムにおける健診システム有料サービス化コンソーシアム「ベトナムにおける健診システム有料サービス化プロジェクト報告書」より。

	報道関係	その他
お問い合わせ	富士フイルムホールディングス株式会社	富士フイルム株式会社
	コーポレートコミュニケーション部 広報グループ	メディカルシステム事業部
		TEL 03-6447-5159
	TEL 03-6271-2000	

\* 記事の内容は発表時のものです。最新情報と異なる場合（生産・販売の終了、仕様・価格の変更、組織・連絡先変更等）がありますのでご了承ください。

富士フイルム広報 X(旧  
Twitter)

一覧へ戻る

©富士フイルム株式会社